

第 3 号

発行 JA吉田総合病院

広島県高田郡吉田町吉田3666  
TEL (0826) 42-0636  
FAX (0826) 47-0007

吉田総合病院

あおぞら

新春号

# 青空

■ホームページ <http://www.hirokouren.or.jp/yhindex.htm>

## 吉田総合病院の地域における役割



事務長 岡崎重隆

その後、府中市、佐伯郡廿日市町（現廿日市市）、尾道市にも病院が開設され、JAの出資を受けた広島県厚生農業協同組合連合会として病床数1千631床従業員1千631人の組織に発展しました。

新年あけましておめでとうございます。皆様には健やかに新年を迎えられたことと思います。

吉田総合病院は昨年4月に創立60年を迎えました。昭和の初頭、高田郡には無医村が7カ所あり、昭和10年頃、「農民のための農民病院をつくらう」と農民運動がおこり、社会運動家の賀川豊彦氏の協力も得て、高田郡をはじめ山県郡・双三郡を含めた33産業組合（JAの前身）、組合員1万5千人の力を結集、昭和18年4月に現在地に54床で開設されました。

吉田総合病院は県北地域のJA医療・健康管理の拠点病院として、また高田郡唯一の総合病院として、行政をはじめ関係機関のご支援も受けながら医療・保健・福祉の充実に努めてきました。

166床の急性期病床、54床の療養病床、120床の精神病床、60床の老人保健施設を持ち、訪問看護ステーション、在宅介護支援センター・居宅介護支援事業所で在宅医療にも取り組んでおります。

急性期病床は平均在院日数が21日以内と制限されていますので、脳血管疾患や骨折などで入院期間が長くなる方は引き続き療養病床・老人保健施設でリハビリを行い、在宅でも安心して療養できる流れをつくっています。また健康管理センターでは日帰り・1泊入院ドック検診も行っております。

外来では1日平均800人利用があり、また休日夜間救急診療所では1日平均15名の受診があります。高田郡の外来患者の3割、入院患者の6割が当院を利用されていると推計されます。

### 謹賀新年



安芸たかた広域連合からの助成を頂いた58床の新病棟で、老人性痴呆の早期診断および早期治療にも取り組んでおります。

地域で連携した医療を行うため、医師会の先生方と共同して治療を行う病床20床も設けております。入院や高度な検査は病院で、通院は自宅近くの診療所で行えるよう紹介、逆紹介を行っております。

新年度の取り組みでは、乳ガン検診のマンモグラフィ（X線撮影装置）導入と、訪問リハビリの充実を予定しております。また病院機能評価を受審し質向上を図ります。

本年は安芸高田市誕生の年であり、当院は市民病院的役割を担うことも求められます。吉田総合病院を開設された先人の熱意を受け継ぎ、従業員一同、地域の関係機関と手を携え更に医療・保健・福祉の向上を図る所存でありますので、ご支援ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

精神科

診療科紹介



長岡幾雄
精神神経科主任部長代理

精神神経科についての紹介原稿を依頼されました。これがうちの特徴ですと... 精神科診療について感じておられることなど... 地域に唯一の精神神経科として、患者層を受け入れておられること... 総合病院の精神科病棟であれば身体合併症の治療のため入院を受け入れることは... 広島大学病院や県立広島病院をはじめ多くの病院で行なわれていますが、当科の場合は他の病院に比較し精神症状がやや活発な状態でもお受けすることがあることも特徴に挙げることができるとおっしゃいます。

治療のため入院される方も時々ですがおられます。また、合併症の治療のための入院ですと福山や呉、大竹などからもお受けしております。... 患者年齢層の広さが増えられます。地域社会の核にもたとえられる(将来的には人口構成上そうなります)高齢者から(就学前・後を問わず)臨床心理士の治療が中心となることも多いのですが、... 精神科治療は大きな変化が生じています。まず、以前は長期入院となることが多かった統合失調症の方も、急性期の入院治療は避けられないとしても、現在は外来治療が圧倒的な割合となつています。薬物療法の進歩や疾病への理解がすすんだこと、また脱病院(脱入院)化という社会の流れが背景にあります。当科入院患者様においても、新規入院で若年あるいは中年層で、入院が長期化している方はあまりおられないようです。つまり、精神科治療の場

が、以前はあくまで「病院」中心であったものが「在宅」中心になつてきているということになります。このことは、生活環境を変えることなく治療し得る意味において、また患者様・ご家族の負担を軽減することもあり歓迎すべき傾向であると考えられます。(もつとも「病院」という治療環境が必要な場合があることは変わりません。強く入院をおすすめすることもあります。)そして、一般の内科医など身体科の医師もかかりつけ医として精神科治療に参加するようになり始めています。薬物治療を中心に精神科的治療をかりつけ医が行なうことは早期治療の観点からして、とてもよい傾向だと思います。ただし、われわれの診察室が淋しくなるようではいけません。専門医として、かかりつけ医の先生から常にご紹介いただけるよう努め、さらに患者様だけでなく紹介してくださったかかりつけ医にも満足していただけることが目標の一つです。先日、当科3名の精神科医が発起人となり「高田地区痴呆研究会」と称した勉強会を開催しました。この地域の7名の医師のご参加を得て、痴呆における病診連携について不肖長岡が講演させていただきました。

好きな言葉 (座右の銘)
● 艱難汝を玉にす
● 診察において気を つけていること
● ささまざまな角度から「問題」を眺めること。
袋小路に陥らないように。

診療医師紹介

- 1. 好きな言葉 (座右の銘)
2. 診察において気を付けていること



つかだゆうじ
塚田勇治
精神神経科副部長
1. 温故知新
2. 早期診断



かじやまひろあき
梶山宏明
精神神経科医師
1. evidence-based medicine(証拠に基づく)
2. 診察室では患者様やご家族に対し、優しく丁寧に接することを心掛けております。

本文の前半にも触れましたように、また勉強会を催しましたように、小生、痴呆の診療が今後の当科の大きなテーマと赴任以来考えております。現在のところ統合失調症の方の入通院が大部分ではありますが、地域的情勢・時代の背景からしても当科への痴呆患者様への取り組みはますます多くを期待されるようになると承知いたしております。この点でも、でき得る限り地域のニーズにお応えしたいと考えております。

最後に申し上げますが、今後とも精神神経科へのご支援ご協力のほど、どうぞよろしくお願ひいたします。



# 臨床検査科

当検査科は、昭和36年4月に設置されました。当時は、臨床検査技師1人と助手2名でした。現在は技師14名で、休日、夜間は全員が交代制で1名が常時勤務して日々努力しています。開設当初からの検査の簡単な変遷と検査業務内容についてお知らせします。



開設当時は、血液検査など患者様ひとりひとりの血液検査を技師の手作業で行っていました。従って検査結果の出るまでに時間を要し、血液の量も多く必要としていました。そこで、昭和54年に血液（赤血球など）生化学（肝機能など）検査を行う自動分析装置が導入されました。測定時間も早くなり、血液量も以前の半分くらいでの測定が可能となりました。こうした中、健診結果を早く報告することや、外来の至急の依頼に対応、また、休日、夜間の検査も早く結果を報告できるように努めています。

ところで、みなさんは、臨床検査とはどういう検査を行っているかご存知でしょうか。

臨床検査には大きく分けて「生体検査」と「検体検査」があります。生体検査には、心電図、脳波、超音波、肺機能などがあります。検体検査は血液、尿、体液などを用いてその成分を測定します。また、感染の原因細菌を調べる検査もあり、また輸血が必要な時、血液を調べる検査もあります。さらに、内視鏡で採取した組織の一部、手術後の臓器の一部、尿、喀痰、など用いて癌組織、癌細胞の有無を調べる検査もあります。

患者様は、生理機能検査で臨床検査技師と接することが多いと思いますが、少しでも顔の見える臨床検査技師をめざして数年前から外来処置室に臨床検査技師が出向き採血や採血管の準備また検査の説明、更に検体の検査室への搬送も行っています。一方、各病棟へは、午前7時前後に当直技師が患者様の血液、尿などを受け取りに向かっています。

患者様はもちろんです、院内で働く他のチームとの連携を取ることも検査科の大きな業務です。今日まで、

- ① 1年365日、臨床検査技師が勤務し、当直体制の実施
- ② 外来、病棟の検体採取、搬送
- ③ 輸血管理の検査室での一元化

- ④ 健康管理センター支援（検診参加）
- ⑤ 心臓カテーテル、エコー下穿刺器具の滅菌管理
- ⑥ 診療所支援（機器の点検、検査情報提供）
- ⑦ 採血管の事前準備（現在は7病棟、人工腎透析室）

など各科との連携を取りながらチームで地域の医療、保健、福祉に貢献できるように取り組んでいるところです。

まだまだ、これからですが、顔の見える臨床検査技師を目指して、今後は、さらに各科との連携を取りながら、医師の指導のもと臨床検査情報に正しく確実に提供できるよう努力し、地域の皆様の健康増進に寄与できればと考えます。どうかお気軽に声をかけさせていただきますと共にご意見をお願いいたします。



# 吉田総合病院 診療案内

受付時間 月曜～金曜8:30～11:30  
2004年1月1日現在

診療科	月	火	水	木	金	
内科	1 診	大石 秀夫	山下 喜史	川本 雅英	山下 喜史	川本 雅英
	2 診	鼻岡 新治	濱田 雅典	大石 秀夫	鼻岡 新治	濱田 雅典
	3 診	加藤 博也	鼻岡 新治	古川 正愛	古川 正愛	加藤 博也
	4 診	大月 知文	日域 邦明	大月 知文	河面 智之	大月 知文
	腹部工コ一	濱田 雅典	加藤・古川	山下・鼻岡	大石 秀夫	大石 秀夫
	胃内視鏡	川本 雅英	川本 雅英	加藤 博也	加藤 博也	山下 喜史
	胃透視・注腸	山下 喜史	大石 秀夫	濱田 雅典	濱田 雅典	鼻岡 新治
U C G		大月 知文		川本 雅英		
* 小児科	診 察	一般外来 (松原啓太・米倉圭二・中田久美子)				
	※ 午後外来受付	一般外来 (月・水・木) 15:00～16:30 乳児検診 (水) 13:00～14:00 慢性外来 (火・金) 14:00～15:30 予防接種 (火・水・金) 14:00～15:00				
外科	1 診	住元 一夫	漆原 貴	越智 誠	下門 清志	住元 一夫
	2 診	下門 清志	越智 誠	漆原 貴	越智 誠	漆原 貴
	3 診 (工コ一)	大平 真裕	谷本 新学	大平 真裕	大平 真裕	下門 清志
	4 診	亀岡 稔	亀岡 稔	谷本 新学		谷本 新学
外脳神経科	診 察	沖田 進司	沖田 進司	沖田 進司	沖田 進司	沖田 進司
	※ 脳神経内科 第2・第4木曜日: 大下智彦					
整形外科	1 診	竹本 正端	定地 茂雄	竹本 正端	寺山 弘志	竹本 正端
	2 診	定地 茂雄	松尾 俊宏	松尾 俊宏	永田 義彦	定地 茂雄
	3 診	寺山 弘志	永田 義彦	寺山・永田	水野 尚之	松尾 俊宏
眼科	診 察	調枝 寛治		非常勤医師		非常勤医師
	※ 月曜日は不定期診療 (事前にお問合せください)					
* 耳鼻科	診 察	一般外来 (1診: 井門謙太郎・2診: 水野一志)				
	※ 午前外来受付 (火曜日のみ) 11:00まで ※ 午後外来受付 (月曜日・水曜日・木曜日のみ) 14:00～15:30					
* 婦人科	診 察	岩沖 靖久	岩沖 靖久	岩沖 靖久	岩沖 靖久	岩沖 靖久
	※ 午後外来受付 (水曜日のみ) 13:30～15:30					
* 泌尿器科	診 察	西本 憲治	西本 憲治	西本 憲治	西本 憲治	西本 憲治
	※ 午後外来受付 (木曜日のみ) 14:00～15:30					
* 精神科	1 診	長岡 幾雄	長岡 幾雄	梶山 浩明	当番 医	長岡 幾雄
	2 診	塚田 勇治	梶山 浩明	塚田 勇治	塚田 勇治	梶山 浩明
* 皮膚科	1 診	行徳 英一	行徳 英一	行徳 英一	行徳 英一	行徳 英一
	2 診	木下 麻衣子				
	※ 午後外来受付 (月曜日・水曜日・木曜日のみ) 14:00～15:30					
* 麻酔科	1 診	久保田 稔		久保田 稔		久保田 稔
	2 診	田村 秀樹		田村 秀樹		田村 秀樹

\* 印は午後外来診察あり

**【眼科外来診療について】**

1月より、月曜日広大名誉教授調枝寛治先生、水曜日・金曜日・非常勤医師の診療となります。  
なお、月曜日は、不定期診療となりますので、事前にお問合せください。  
度重なる診療変更により、ご迷惑をおかけいたしますこと、お詫び申し上げます。

**【おれおれ詐欺】 対策寸劇上演**

吉田高校生活福祉科生徒の皆様による悪質商法防止の寸劇を、老健のぞみにおいて上演いただきました。  
電話で親族を装い金をだまし取る「おれおれ詐欺」等の手口を時代劇風に構成し、主人公が被害に遭う様子を演じた、その名も「郡山の金さん！」  
「名前を先に名乗ってもらい、誕生日を聞いて」などと呼びかけて、対策を書いたチラシを配っていただきました。  
皆様も「おれおれ詐欺」に気をつけましょう！